日本語 ——

1.ご使用の前に

○本製品をご使用になる前に必ずこの説明書をよく読み、正しい使用方法を十分理解した上でご使用ください。使用方法がわからないままでのご使用は絶対におやめください。 ○この説明書は大切に保管いただき、必要に応じてお読みください。

- ○お客様の誤った使用方法で発生した破損や故障、事故に関しましては、弊社は一切の補償をいたしかねますので予めご了承ください。
- ○ポンプの空回しのままでのご使用は絶対におやめください。必ずパイプとホースを正しく接続し、フィルター (ポンプ)の中に水を通してから電源を入れてください。

○キャニスター部とポンプ部をつないでいる黒いゴムホースは時間の経過で劣化します。表面にひびが入ったり、水がしみ出てきた場合には、速やかに新しいものと交換してください。 緊急の場合は、付属のクリアホースを短く切ったものでも代用できます。

○吸水部にスポンジを付けたり、プレフィルターを接続した状態では使用できません。ポンプが故障する原因となります。

○海水には使用できません

○弱った魚や小さい魚は吸水部に吸い込まれることがありますのでご注意ください。

○生体の病気や死亡、水草の枯れなどについて弊社は一切の責任を負いません。

2.安全上の注意

▲ 注意:この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合を示しています。

○電源プラグは確実に差し込んでください。本機の電源プラグはトラッキング防止機構を持っていますが、差し込み部に水が掛かったりほこりなどがたまらないように注意してください。

また、必ずアース端子を接続してください。さらに漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。

○感電の原因となることがありますので、水槽内に手を入れるときは電源を抜いてください。

○ポンプは防塵、防水構造ではありません。水気の多い場所や湿度の高い場所で使用すると、感電したり、ショートする恐れがあります。濡れた手で触らないでください。

○本機は50Hz / 60Hz共用ですが、正しい電源電圧 (AC100V) で使用してください。 誤ったご使用は、火災や感電、故障の原因となります。

○電源コードに傷を付けたり乱暴に取り扱わないでください。火災、漏電、感電の原因となります。

○電源コードに中間スイッチを取り付けたり、ポンプ本体の改造を行うことは絶対におやめください。故障や重大な事故の原因となります。

○本機は屋内田です。屋内でのみで使用ください

○金属の鋭利な部分でケガをしたり、リリィパイプが割れる恐れがあります。子どもが触らないように注意してご使用ください。

○ポンプの表面は高温になります。ヤケドに注意し、子どもが触らない場所でご使用ください。

○電源プラグや手が濡れた状態でコンセントに抜き差ししないでください。火災や感電、故障の原因となります。

3.スーパージェットフィルターの特長

○ネイチャーアクアリウムに最適な外部式フィルターです。魚の飼育や水草の育成などに広くご利用いただけます(※淡水専用)。それぞれ、以下の水槽サイズに対応します。 ·ES-600 W60×D30×H36cm水槽~W60×D45×H36cm水槽

·ES-900 W90×D45×H45cm水槽

·ES-1200 W120×D50×H50cm水槽

・ES-2400 W150×D60×H60cm水槽~W180×D60×H60cm水槽(※これ以上の水槽サイズでは複数設置)

○ろ材の目詰まりによる流量低下が起こりにくい特別仕様のマグネットポンプ (株式会社イワキ製)を採用。ポンプとキャニスターを分離することで、ポンプの発熱や電磁波によるろ過微 生物への影響を軽減しました。

○ステンレス製 (SUS304鋼)のキャニスターは円筒形で内部に余計な構造がないため、容積が最大限に利用できます。高い堅牢性とデザイン性を両立したシンブルなフォルムです。

4.部品名称

セットする前に、すべてのパーツが入っているか必ず確認してください。



●ろ材のセット方法

①バックルを外して天板を開け、上部の目皿とネット入りバイオリオGをキャニスターから取り出します。※バックルを外す際に、爪などを傷付けないように十分注意してください。

②ネット入りバイオリオGをビニール袋から出し、ネットに入れたままで水かぬるま湯で、細かい粉をよく洗い流してください。

③下部の目皿、ネット入りバイオリオG、上部の目皿の順にキャニスターに入れます。※ネット入りバイオリオGをキャニスターに入れる際には、キャニスターのエッジでネットを破らない ように注意してください。



※必ずよくお読みください。

天板のセット方法 、
天板取り付けの際は、でき るだけ均一に押さえなが ら、バックルを掛けてくだ さい。バックルは4箇所と もフックに掛けてから対 角線方向の2箇所を同時 に閉じるようにします。 ロリング ロリングにゴミの付着やよ じれがないかチェックして から、取り付けてください。 水漏れの原因となります。 ロリング受け 0リング受けにゴミなど ないか確認してから、ロリ ングを付けてください。

●天板のセット方法

①ろ材をセットした後、キャニスターのロリング受けにろ材の破片やゴミなどが残っていないように、布などできれいに拭き取ってく ださい。

②Oリングにゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターのOリング受けによじれないようにセットします。 ※0リングにゴミが付いていたり、よじれていると水漏れの原因になるので、特に注意してセットしてください。 ③天板の裏側にもゴミなどが付いていないことを確認して、キャニスターにセットします。バックルは4箇所ともフックに掛けてから、 対角線の2箇所を同時に閉じるようにします。

※バックルを閉じる際に、指などを挟まないように十分注意してください。

●フィルターの設置と起動

①フィルターを設置する際には、必ずポンプが水面よりも低い位置になるようにしてください。フィルターをスムーズに起動し、作動中 にトラブルが起きないようにするためには、ポンプが水面から30cm以上低い位置に設置してください。 ②図を参考に、吸水パイプと出水パイプの準備をします。水槽に取り付けるパイプの位置を決め、長さをあわせてホースをカットします。 ※ホースは接続した時に折れない程度に、余裕を持った長さでカットしてください。短すぎるとメンテンスなどの際に扱いにくいこと があります。また、長すぎるとホースが折れて水流が止まる恐れがあります。 ③図を参考に、吸水パイプと出水パイプをホースで接続します。ホースが不意に抜けないように、フィルター側の接続部は、必ずホー スバンドで固定してください。

※ホースバンドはドライバーを使って固定してください。 ※ホースバンドは締めすぎるとパーツの破損につながる恐れがあるのでご注意ください。 ④ポンブを作動させる前に、水槽に十分な量の水が入っていることを確認した上で、呼び水をしてフィルターの中に水を通します。呼び水は、一度出水パイブを外して出水側のホースを口で 軽く吸うと簡単に行えます。ポンプの中まで水が通ったら、再びホースと出水パイプを接続してください。

※ポンプの空回しは絶対にしないでください。故障の原因となります。

⑤ポンプの電源を入れる前に、天板の周りやホースの接続部などから水が漏れていないことを確認してください。水が漏れた場合は、一度フィルターから水を抜き、ロリングやホースが正しく セットされているか(よじれたりゴミが付着していないか)を確認してください。キャニスター上部の接合部から水漏れする場合も、ロリングが正しくセットされていないことが考えられます。

⑥電源ブラグをコンセントに差し込んでポンプを起動します。水漏れや異常音が発生した場合には、すぐに電源ブラグを抜き、接続方法などを確認してください。なお、ポンプの起動直後、フィ ルターの中に空気が残っていると、ポンプから「シャー」という音がして出水に細かい泡が混じることがありますが、正常であれば数分間で消えます。

※新しいろ材を最初に使用する場合には、空気が完全に抜けるまで時間が掛かることがあります。また、使用中にフィルター内に空気がたまり、断続的に水流に細かい泡が混じることがあり ますが、これは異常ではありません。

⑦起動してから30~60分後に、フィルターやホースから水漏れがないことと、ポンプが正常に作動していることを必ず確認してください。

●ゴムホース用クリックバンドの取り扱いについて

キャニスターとポンプを接続するゴムホースには、特殊なクリックバンドが取り付けられています。 ポンプのメンテナンスの際などには、右の図にしたがって脱着を行ってください。 ○クリックバンドは、マイナスドライバーで取り外すことができます(図1)。 ○クリックバンドを取り付ける場合には、マルチグリッププライヤーなどで、クリック感があるとこ ろまで締めてください (図2)。

※クリックバンドの角などでケガをしないよう、取り扱いに注意してください。また、着脱の際に、 工具などでケガをしないよう注意してください。

※子どもが誤って飲み込んだりしないよう、子どもの手の届かない場所で保管してください。

6.リリィパイプP(出水用)、ニュー・リリィパイプV(吸水用)について

この製品には、出水パイプとしてリリィパイプP(出水用)、吸水パイプとしてニュー・リリィパイプV(吸水用)が付属しています。 [安全上の注意] ※必ずよくお読みください。

○破損するおそれがありますので、乱暴に取り扱ったり、落としたり、不用意に力を掛けないようにしてください。特にホースやキスゴムの着脱の際、 水槽へ取り付ける際や取り外す際、洗浄する際などの取り扱いにはご注意ください。また、洗浄の際にお湯をかけるなど、温度を急変させるような ことは絶対におやめください。

○万一、本製品が破損した場合には、割れた箇所を手で触ったり、破片などを足で踏まないようにご注意ください。ケガの原因となるおそれがあります。 ○破損した本製品は販売特約店店頭にて修理を承っております。修理をご希望の場合は、けがのないよう注意して、ご購入いただいた販売特約店に お持ち込みください

○生体の死亡につきまして、弊社は一切の責任を負いません。

○子どもの手の届かない場所で保管、使用してください。

[使用上の注意]

○リリィパイプに接続するホースは、新しいものを使用してください。古いホースは弾力がなく外れやすいので使用しないでください。



フィルターの設置と起動









お問い合わせ先:ADAサービスセンター 0256-72-1994(平日10:30~17:30) E-mail/support@adana.co.jp

発売元:株式会社 アワアデザインアマノ 新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1 〒953-0054

aqua pesign amano co.,LTD. 8554-1 Urushiyama, Nishikan-ku, Niigata 953-0054, Japan MADE IN JAPÁN

405101S14JE22E12





ΛΠΛ **NATURE** ΛΟυΛΡΙυΜ **SUPER JET FILTER**







○ホースが接続しにくい場合は、ホースの内側とパイプの外側を水で濡らすと接続しやすくなります。また、ホースが取り外しにくい場合は、パイプを一度ホースに押し込むと取り外しやすくな わます.

○ホースやキスゴムの着脱の際は、必ずパイプのキスゴム取り付け部付近を持って作業してください。取り付け部から離れた場所を持って作業すると無理な力が加わり、パイプが破損する 恐れがあります。また、キスゴムを取り外す場合、必ず縦方向に取り外してください。横方向に取り外すと破損の原因になります。

○吸水パイプの吸水口に水草の葉などが吸い付いた場合には、速やかに取り除いてください。また、吸水口にスポンジなどを取り付けてのご使用は絶対にお止めください。吸水口が詰ま るとポンプに負荷がかかり、故障の原因となります。

○ガラス器具の洗浄には、ガラス器具専用洗浄液スーパージィおよびスプリングウォッシャー(共に別売)を使用し、スーパージィに添付の使用説明書に従って洗浄してください。

7.メンテナンス方法

●日常の点検と注意点

○出水バイブから出る水の流量が少なくなっていないか定期的に確認してください。通常、フィルターの中にゴミや汚泥がたまると、流量は少しずつ減少します。この場合、フィルターを止め てろ材をパケツなどに出し、水槽の水を使って軽くすすいでください(2~3ヵ月に1回)。また、吸水パイブの吸水部に水草の葉などが詰まったりホースが途中で折れている場合や、ポンプ に異物が入った場合、流量が急激に減少します。この場合は、フィルターを止めて適切な処置(ゴミなどの除去や折れたホースの修正)を行ってください。

○水の蒸発や換水などで水位が下がり、吸水バイブから空気を吸い込むとポンプが止まります。そのままにしておくとポンプが故障しますので、空気を吸い込んだ場合には、すぐにポンプを 止めて、水槽に水を足してください。ポンプを再び起動する前には、必ず呼び水をして、ポンプに水を通してください。

○換水の際には、水がポンプやコンセントに掛からないように注意してください。

●フィルターのメンテナンス

○フィルターを開け、ろ材の洗浄や交換を行う場合は、電源ブラグをコンセントから抜き、吸水パイプと出水パイプを水槽から外してパケツなどに入れてフィルター内の水を抜いてください。 ろ材と水を含んだフィルターは、かなりの重量になりますので、取り扱いには十分注意してください。

○水槽の環境が急変しないように、ろ材の洗浄と換水は同時に行わないでください。ろ材の洗浄は、バケツなどに入れた水槽の水で軽くすすぐ程度にします。

○フィルターを開けた後、ロリングをセットする際には、よじれや傷、ゴミの付着がないことを必ず確認してください。また、劣化したロリングは早めに交換してください。 ○ホースやパイプの内側に藻類が付着した場合には、スプリングウォッシャー (別売)を使用して落としてください。

○ポンプ本体は、必要時以外むやみにフロントケーシングを開けないでください。過ってろ材などの異物がポンプ内部に入った場合や汚れがたまった場合などやむを得ない場合は、電源 プラグをコンセントから抜いた後、以下の手順に従って除去してください。

①スパナなどの工具を使って、ポンプを天板から外します。クリックバンドを外し黒いゴムホースも外してください。 ポンプ各部の名称(FS-600の場合) ②フロントケーシングを固定しているボルトを外します。

③フロントケーシングを外し、ピンセットなどを使って慎重に異物を除去します。インペラやセラミックスピンドル、 スラストなどの部品は不用意に外さないでください。外した場合には、部品をなくさないように注意してください。 なお、インペラなどが汚れている場合は、ブラシなどで汚れを洗い落してください。

※ES-1200とES-2400では、インペラ部、セラミックスピンドル、スラストが一体になっています。

④外した部品を再び取り付け、ボルトでフロントケーシングを固定します。ES-600、ES-900のセラミックスピン ドルには方向性があるので、右の図を参考にして取り付ける際には注意してください。

※ポンプ用ロリングをセットする際には、よじれや傷、ゴミの付着がないことを必ず確認してください。 また、劣化した0リングは早めに交換してください。

⑤ポンプと天板のエルボー部をゴムホースで接続します。ゴムホースの内側を水で濡らすと接続しやすくなります。 ゴムホースは取り付け方によって端から水がにじむことがあります。必ずクリックバンドを使用してください。なお、 ゴムホースは、温度や湿度、紫外線などの影響で時間の経過により劣化していきます。水漏れを防ぐため、劣化が 見られた場合は別売のゴムホースと交換してください。

(6) 天板にポンプを固定します。

※ポンプは必要がない場合には外したり分解したりしないでください。なお、フロントケーシング以外の部分(コン デンサー部やモーター部)は絶対に開けないでください。

●保管する場合の注意点

○長期間使用しない場合には、フィルターから水とろ材を抜き、キャニスター内部を洗浄した後、乾いたタオルなど で十分に水分を拭き取ってから保管してください。

○水が付いた状態で長期間放置すると、天板のエルボー部やキャニスター内部の溶接部分などに、うっすらと赤い錆 が生じることがありますが、気になる場合は市販の錆取り剤で拭き取ってください。錆取り剤を使用した後は、十 分に洗浄し、薬品を水槽に入れないようにしてください。

8.使用上の注意

○本機搭載のポンプは自吸式ではありません。水面とポンブ部の高低差が小さすぎると、エアを吸い込む可能性がありますので、ポンプが水面より30cm以上低い位置に設置してください。 ○吸水パイプにスポンジのような負担が掛かるものを取り付けることはお止めください。また、プレフィルター等は接続できません。吸水側に過剰な負担が掛かると、内部のインペラの消耗 が生じ、エア噛みやポンプの停止などのトラブルが発生しやすくなります。

○フィルター上に紙、布など物を置かないでください。過熱の原因となることがあります。

- ○ポンプの表面は、正常な作動状態でも熱を発しています。特にES-1200とES-2400のポンプの表面は高温になります。作動中はポンプに触れないようにしてください。ヤケドに注意し、 子どもが触らない場所でご使用ください。ポンプのメンテナンスなどの際は電源プラグを抜き、ポンプの温度が十分に下がってから行ってください。
- ○スーパージェットフィルターからは、常にポンプの作動音が聞こえます。これは異常ではありません。なお、ポンプに空気が入った場合には、通常の作動音とは異なる大きな音になります。 その場合には、一度ポンプの電源プラグを抜き、キャニスターやポンプの中に入った空気を完全に抜いてから、ポンプを再び作動させてください。ポンプに空気が入った状態で使用して いると、ポンプが止まる恐れがあり、故障の原因となります。

○本機は安定した場所に設置してください。また、万一の漏水時を考慮し電気製品の周囲には置かないでください。

○本機を倒したり、傾けてのご使用はおやめください。水漏れやポンプ故障の原因となります。

○本機はろ材や水が入った状態では非常に重くなります。運搬の際は水を抜き、安全に十分ご注意ください。また、ポンプなど天板部だけを持って本体を持ち上げることは絶対におやめくだ さい。水漏れやバックル破損の原因となります。移動する場合は、必ずキャニスター本体を持ってください

○高所からの落下など極端な衝撃を受けると、変形や破損の恐れがあります。運搬などの取り扱いにはご注意ください。また、変形した状態でのご使用は水漏れなどの原因となりますので おやめください。

○製品の仕上げには、十分注意を払っておりますが、Οリング受けの内側などにバリが出ていたり、製品の切断面等が、鋭利になっている場合もあります。ろ材の交換時や、天板を閉める際に はケガのないよう取り扱いに十分で注音ください。

Fnalish —

1. Before use

Before the installation of this product, make sure to read this instruction manual carefully and understand all of its directions Please keep this instruction manual even after reading it and refer back to it when needed.

Please be forewarned that ADA is not responsible for any breakage, damage and/or accident caused by improper use of this product ONever use the pump with the pump running idle. Always connect tubes and hoses correctly, and let water circulate in the filter (nump) before turning the power on. Black Rubber hose connecting Canister and Pump wears with time. Replace with a new hose immediately in case a crack is developed on the surface or water seeps out from the hose. In case urgent replacement is required, cut the attached Clear Hose short and use the shortened Clear Hose as a substitute, OSUPER JET FILTER cannot be used with a sponge attached to the inflow area, or a prefilter connected with SUPER JET FILTER. They may cause breakage of the Pump

OSUPER JET FILTER cannot be used for marine aquariums

OPay special attention to decrepit fish and small fish as they can be sucked into the inflow area. ADA shall not be responsible for any disease and death of fishes, and condition of plants.

2. Safety instructions

*Read the following safety instructions carefull

[CAUTION] Using this product without observing the following precautions may cause serious bodily harm or damage of property Oinsert Power plug into an outlet securely. The Power plug of SUPER JET FILTER is equipped with anti-arc tracking structure, but pay attention to avoid water splashing on the Power plug and dust accumulating on it. Make sure to mount the Earth terminal. Mounting circuit breaker for electrical leakage is recommended.

Unplug the Power plug when putting your hands in the aquarium water as it may cause electrical shock otherwise.

The Pump does not have dust-proof and water-proof structure. There is a risk of electrical shock or short circuit in case of using it at places with a lot of moisture and high humidity. Do not touch the product with wet hands

This product can be used at 50Hz and 60Hz, but it needs to be used at proper power-supply voltage(AC 100V). Improper use may cause fire, electrical shock, or breakage. Obo NOT damage the Power plug or mishandle it. It may cause fire, electrical leakage, or electrical shock.

ONever mount an intermediate switch to the Power plug or convert the Pump. It may cause breakage or serious accident

This product is designed for indoor use. Use it only indoors

There is a risk of injury by cutting yourself with the sharp part of the metal or broken glass pipe.

The surface of the pump gets hot. Be careful not to get burned. KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN.

ODo not plug or upplug with the power plug and hands wet. It may cause fire, electric shock, or malfunction

3. Special features of SUPER JET FILTER SERIES

Olt is an external filter, ideal for Nature Aquarium. It can be used widely for keeping fish, aquatic plants, etc. (for fresh aquarium only). Each filter matches with the tank size as following: •ES-600 : W60 × D30 × H36cm tank - W60×D45×H36cm tank •ES-900 : W90×D45×H45cm tank •ES-1200 : W120×D50×H50 tank •ES-2400 : W150×D60×H60cm tank - W180×D60×H60 tank (※Multiple filters are required for larger tanks)

Olt adopts a specially developed magnetic drive pump, and with this, decreased water flow caused by clogged filtration media (manufacturer: IWAKI CO.,LTD.) is less likely to occur. Its structure with separated Pump and Canister enables to reduce the heat produced by the Pump and negative effect to filtration bacteria caused by the electromagnetic ray. The Canister made of stainless steel (SUS304) in a cylindrical form has eliminated excessive structure inside, so that its volume capacity can be utilized to the maximum extent

4. Parts

Before setting up the product, please check if all below parts are contained in the package



5. Usage

Setting up the filtration media

①Unlock the Buckles, open the Top panel, and take out the upper Strainer and Bio Rio G in a net from the Canister. *Be careful not to damage your nails when unlocking the Buckles. 2 Take out Bio Rio G in a net from a plastic bag, clean Bio Rio G lightly only to rise fine powders away while keeping the Bio Rio G in the net. ⁽³⁾Place the followings in the Canister in the order of lower Strainer. Bio Rio G in a net, and upper Strainer. When placing Bio Rio G in the Canister, be careful not to tear the net with the edge of the Canister.

Setting up the Top plate

①After setting the filtration media, wipe off the particles of filtration media and dust remaining on the O-ring acceptor using a cloth.

- [®]Make sure there is no dust on the O-ring then set the O-ring to the O-ring acceptor, without having a crinkle.
- ** Pay extra attention at the setup as remaining dust or crinkle on the O-ring may become a cause of water leakage.

③Set the Top plate on the Canister after making sure that there is no dust on the back side of the Top plate. In order to lock the buckles properly, hook all four buckles on the hooks first, then buckle down two diametrically opposite buckles at the same time.

*Be very careful not to get your fingers caught in the buckles when locking the Buckles



※下図参昭

場合には、下図を参考に方向をご確認ください。

セラミックスピンドルの方向(ES-600、ES-、900の場合)

______ セラミックスピンドルには方向性があります。万一取り外してしまった

セラミックスピンドル

←フロントケーシング方向 リアケーシング方向-

The way of setting up (for ES-600)

Installation of Top pane

Top panel

O-ring

Strainer

Bio Rio G

Installing and starting SUPER JET FILTER



Installing and starting the filte

()When installing the filter, make sure that the position of the Pump is lower than the water surface. Install the Pump at a position 30cm or more below the water surface in order for the filter to start smoothly and avoid troubles during operation ⁽²⁾Prepare the Inflow pipe and Outflow pipe referring to the figure on above right. Decide the position of the pipes and the

length of the hose, and cut the hose at the appropriate length. *Clear Hose should be cut with some extra length not to bend it when installed to the tank. If Clear Hose is cut too short, without any extra length, it may be difficult to handle during the maintenance. If too long, the hose may bend and block the

③Connect the Inflow pipe and Outflow pipe with Clear Hose referring to the figure on above right. Make sure to clamp the connecting part of the filter with Hose Band firmly to avoid the hose to be unexpectedly disconnected.

*For attaching Hose Band to ES-600 use tools such as ninner. For ES-1200 and ES-2400 use a screwdriver for clamping *Please note that if you tighten the Hose Band too much, it may cause damage to the parts.

(4)Before operating the Pump, make sure there is an adequate amount of water in the aguarium tank then start circulating the water by pump priming. Pump priming can be easily done by disconnecting the Outflow pipe once and sucking the hose at the Outflow side with your mouth lightly. When the water gets inside of the Pump, connect the hose and Outflow pipe again. *Never operate the filter without water circulating in it. It may cause breakage.

(5)Before turning on the filter, make sure that water is not leaking around the Top plate and connecting part of Clear Hose. If water leakage is found, remove the water from the filter once and check if O-ring is set properly (without any crinkle and dust). Water leakage at the connecting part of the upper Canister can also be due to improper setting of O-ring.

(i)Insert the Power plug into an outlet and start the Pump. In case water leakage or abnormal sound occurs, unplug the Power plug immediately and check that the connection is correct. Right after the initial operation of the Pump, it may produce a hissing sound and fine bubbles in the outflow water if air is remaining inside the filter. However, in normal case, these symptoms will disappear in few minutes.

Figure 1

*In case of using new filtration media at initial operation, it may take some time for the air to be removed completely. In some cases, air may be accumulated inside the filter during the use, and fine bubbles may be mixed intermittently in the water flow, but it is not abnormal.

Make sure to check there is no water leakage from the filter and hose, and the Pump is operating properly 30 to 60 minutes after starting the filter.

Handling of Click band for Rubber hose

The Rubber hose connecting the Canister and Pump is equipped with a special Click band. At

Stabilization Mat

%Included with

Reduces floor vibration and

noise during operation.

ES-600 ES-900

- maintenance, disconnect and reinstall the Click band according to the figure on the right.
- OUse flat-blade screwdriver to remove Click band (Figure 1). When mounting the Click band, close it until you feel the click, using a tool such as multi-grip
- plier (Figure 2). *Handle with care not to hurt vourself with the corner of Click band. Be careful not to hurt
- yourself with tools when removing and reinstalling %For storage, keep out of reach of children to prevent them from accidentally ingesting the part.

6. LILY PIPE P (outflow) and NEW LILY PIPE V (inflow)

This product comes with a set of outflow pipe, LILY PIPE P, and inflow pipe, NEW LILY PIPE V.	LILY PIF
[Safety instruction] ※Please read carefully.	(outflow
OAvoid mishandling, dropping, and exposing to sudden pressure as they may cause breakage. Handle with care especially when removing and	
reinstalling a hose and a suction cup, setting up to the tank, and cleaning. Never subject glassware to sudden temperature change, for example, exposing to hot water for cleaning.	
In case the glassware is broken, be careful NOT to touch the broken part and step on broken fragment. They may cause injury.	\sim
Olf you experience any issues, contact your local ADA distributors.	
ADA shall not be responsible for any disease and death of fishes, and condition of plants.	
OKEEP OUT OF REACH OF CHILDREN	
	0 0
[] [sage instruction]	Suction Cup

[Usage instruction]

OUse a new hose for connecting to the glass pipes. Do NOT use a used hose as it is inelastic and it easily comes off.

- OIn case it is hard to connect a hose, moisturizing inside of the hose and outside of the pipe with water makes the operation easy. In case it is hard to remove the hose from the pipe, push the pipe into the hose once then gently disconnect.
- When removing and reinstalling hose or suction cup, make sure to hold a point close to the suction cup connecting part of the pipe. Holding a point away from the suction cup connecting part gives unnecessary force to the pipe and may cause breakage. When removing the suction cup, please detach in vertical direction (perpendicular against pipe) Removing them in a horizontal direction may cause damage to the pipes.
 - OIf leaves of aquatic plants stick to inlet slits of Inflow pipe, remove them immediately. Do NOT attach a sponge at the inflow opening. Clogging of the inflow opening causes unnecessary force to the Pump and breakage of the part
 - OFor cleaning of glassware, use a special detergent for cleaning glassware, SUPERGE and SPRING WASHER (both are sold separately), and wash according to the procedure in the SUPERGE's instruction manual.

7. Maintenance

Daily check and caution

- cases, stop the filter and take appropriate action (removing dust or correcting the bent hose).
- The Pump stops its operation when the water level becomes low and air is sucked into the Pump due to evaporation of water or water change. In case air gets into the Pump, stop priming and let some water circulate in the Pump.
- OBe careful not to get water on the Pump or Power plug when changing water

Filter maintenance

- the weight of the filter containing filtration media and water can be guite heavy
- Obo NOT clean the filtration media and change water at the same time. For cleaning of filtration media, washing lightly with the aguarium water in a bucket is enough Owhen opening the filter to set the O-ring, make sure that there is no dust or crinkle. When O-ring is worn out, replace it promptly Olf algae is accumulated inside of hose or pipe, wash it using SPRING WASHER (sold separately). OD NOT open the Front casing of the Pump unless absolutely necessary. In such case, for example foreign subject including filtration media accidentally gets into the Pump or dust is accumulated inside it, unplug the Power plug first then remove the foreign subject or dust according to the following procedure:
- ①Remove the Pump from Top plate using tools such as screw wrench. Remove Click band and black Rubber tube as well
- ⁽²⁾Remove the Bolt that is holding the Front casing
- ③Remove the Front casing and take out the foreign subject carefully with a pair of tweezers. Do NOT detach parts including Impeller, Ceramic spindle and Thrust unless it is necessary. If they need to be detached, be careful not to lose any parts. If Impeller gets dirty, wash off the dirt with a brus
- %For ES-1200 and ES-2400, Impeller, Ceramic spindle and Thrust are in a combined unit. (4) Reinstall the removed parts and clamp the Front casing with Bolt. Ceramic spindle with ES-600 and ES-900 has
- a certain direction. Thus, please refer to the illustration on the right and check the correct direction When installing the O-ring, make sure to check that there is no crinkle, damage, or accumulating dust. When O-ring is worn out, replace it promptly
- (5) Connect the Pump and the elbow part of the Top plate using the Rubber hose. Moisturizing inside of the hose with water makes the operation easy. Depending on how the Rubber hose is connected, water may distill from the end of the hose. Always use Click band together. Rubber hose deteriorates in time due to temperature, humidity, and ultraviolet light. If deterioration of Rubber hose is observed, replace with a new rubber hose sold separately to avoid water leakage
- 6 Clamp the Pump on the Top plate
- *Do NOT detach the Pump or break it into parts unless absolutely necessary. Never open the parts (Capacitor, Motor, and Rear casing) other than Front casing.

Cautions for storage

- Olf this product would remain unused for a long period of time, remove the water and filtration media from the filter wash the inside of the Canister, and completely wipe off the water with a dry towel before storing.
- Olf this product is left wet for a long period of time, red rust may appear on welding area of the elbow part of Tor plate or the inside of the Capister. It is not corrosion of the stainless steel itself, but in case it is disturbing for you the rust can be wiped off with rust removal that is available in market. After using the rust removal, rinse this product thoroughly and keep the chemical agent out of the aguarium.

8. Usage instruction

surface and the Pump is too small

- of internal Impeller, and troubles like air entrainment or stopping of the Pump occur more frequently.
- ODo NOT place paper, cloth, or any other object on the filter. It may cause overheating.
- maintenance of the Pump, unplug the Power plug and wait until it cools down before starting the maintenance work. kept working with air trapped inside, it may cause the Pump to stop or breakdowr
- OPlace this product at a stable location. Considering the possibility of water leakage, do NOT place this product around electrical products. ODo NOT lay or lean this product when in use. It may cause water leakage and breakage of the Pump product only by holding the Pump and/or Top plate. It may cause water leakage and breakage of the Buckle. When moving, always carry the body of Canister.
- deformed, stop using it as continued use of the deformed product may lead to water leakage or other problems
- replacing the filtration media or closing the Top plate, pay extra attention not to hurt yourself.

Clicking sound

Below filtration media is included in

BIO RIO G

Filtration media Contents

6.51

Ø17 × 2

Ø17 × 2

Ø17 × 2

Ø20 × 2

Ø13 3m

Ø13 2n

Ø13 2m

Ø17 2n

Ø17 2m

Ø17 2m

Ø20 2n

13L

each SUPER JET FILTER.

ES--900 BIO BIO G

ES-1200 BIO RIO G

ES-2400 BIO RIO G

Hose Band

ES-600

ES-900

ES-1200

ES-2400

Clear Hose

ES-600

ES-900

ES-1200

ES-2400

ES-600

LILY PIPE P NEW LILY PIPE V

ioint part

Figure 2

Oconduct a periodical check to see if the amount of water flow from the Outflow pipe has been decreased. Usually, the amount of water flow decreases if dust or sludge is accumulated inside the filter. In such case, stop the filter, take out the filtration media to a container such as a bucket, and wash it lightly with the aguarium water (once every 2 to 3 months). If the inlet slits of Inflow pipe is clogged with leaves of aquatic plants, if the hose is bent in the middle, or if foreign subject gets into the Pump, the flow rate significantly decreases. For such

the Pump immediately and add some water to the tank; leaving the symptom untreated may cause damage to the Pump. When re-starting the Pump, always perform pump

When opening the filter to clean or replace the filtration media, unplug the Power plug, remove Inflow and Outflow pipes to a bucket, and drain the water in the filter. Handle with care as

Parts of the Pump head (ES-600)



To Front casing

To Rear casing -

The Pump installed in this product is not a self-suction pump. Place the Pump more than 30cm lower from the water surface as it may suction air if the height difference between water

ODo NOT attach a sponge to the Inflow pipe as it causes unnecessary force. Prefilter cannot be connected to this product. Putting too much stress on the inflow side would result in wear

The Pump produces heat from its surface even during the normal operation. Especially surfaces of ES-1200 and ES-2400 get hot. Do NOT touch the Pump when it is in operation. For

OSUPER JET FILTER always produces operating sound when it is working. The operating sound is not abnormal. However, in case air gets into the Pump, it produces a loud sound that is different the from the normal operation sound. In such case, unplug the Power plug and remove the air from the Pump and Canister completely, and re-start the Pump. If the Pump is

Othis product becomes significantly heavy when filtration media and water are contained. When moving it, drain the water first, and always protect your safety first. Never carry this

Opropping this product from high place or exposing it to extreme shock may result in deformation or breakage. Handle with care when carrying and moving. If this product gets

This product is made with careful finishing treatment, but in rare case, burr may be found on the inside of O-ring acceptor or the cross section of the product may be sharp. When